

| | |
|-------|---|
| 日時・場所 | 令和2年3月30日(月)8時45分～ 庁議室 |
| 出席者 | 山仲市長、西村教育長、瀬川議会事務局長、竹中政策調整部長、吉川病院事務部長、小山総務部長、三上総務部政策監、田中市民部長、高橋健康福祉部長、赤坂健康福祉部政策監、野崎都市建設部長、遠藤環境経済部長、杉本教育部長、川端会計管理者、吉田政策調整部次長、北脇広報秘書課長、事務局(企画調整課) |

1. 市長指示事項

- ・今年度も今日と明日の2日となった。この1年、様々な市民サービス等の業務で貢献いただき感謝する。また、今年度で退職される方には、長年のご苦勞とご貢献に重ねて感謝する。
- ・新型コロナウイルスは収束どころか、世界的にもまだ見通しが立っておらず、国内でも心配されていたとおり東京で感染者がかなり増えている状態である。世界的にも大都市圏が最も厳しく、まさに予断を許さない状況である。
幸い、県内の感染者は6人に留まっているが、人の行き来等で当然リスクはある。4月からは学校が始まる予定であり、最大限の安全は保ってもらおうが、どうしても集団になるため、一層の慎重な対応をお願いしたい。
- ・学校が始まるにあたり、国はマスクを配布すると言っているが確実ではないため、独自に市内の事業者等とも相談し、保育園、幼稚園、小中学校全ての児童・生徒に繰り返し使えるマスクを配布する予定で進めている。これで万全ではないが、安全の確保と緊張感を持ってもらうために市として対応する。
- ・繰り返しになるが、広報や情報提供がまだまだ弱い。組織的に前へ前へと見通して、市民へ情報を提供するという点について、年度末ではあるが、改めて心がけてもらいたい。

2. 議題

① 学校等再開に向けた全児童・生徒等へのマスクの配布について

3月24日に文部科学省から「新型コロナウイルス感染症に対応した学校再開ガイドライン」が発出され、換気の徹底とマスクの使用等が示されている。本市においては、4月1日以降の新型コロナウイルス感染症に対応した学校等の再開にあたり、児童・生徒等の安全と安心を確保し、保護者の負担軽減を図るため、布マスクを6,500枚購入し、全児童・生徒等に配布する。なお、予算については、緊急を要することから専決処分により令和2年度予算の補正を行う。一度に納品されないため、納品された分から随時配布を行っていく。

3. その他伝達事項

- 年度始めにおける県庁等への挨拶回りについて、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため自粛する部もあると聞いているが、市として統一的な方針は示さないのか。
→ 大事なことである。不要不急であり、できるだけ移動と接触をなくした方が良いため、組織間の挨拶は行わないことをこの場で決定し、メッセージを出してはどうか。事前に説明しておかないと野洲市は来なかったという話になってしまう。来ていただく方も断りはしないが、お控えいただくこととしてはどうか。
- さくら墓園の合葬墓について生前登録の応募をしたところ、100名の定員に対して300名を超える方から申し込みがあった。当初は抽選とする予定だったが、埋蔵可能数は2,000体であり、100名としなければならない積極的な理由はなく、全ての申込者にご安心いただくため、希望者は全員受け付けることとする。(環境経済部)

4. 次回部長会議の予定

4月6日（月）8時45分～ 庁議室